

# 行政改革の取組みについて

高砂市

# I これまでの取組み

## ① 「第3次高砂市行政改革大綱」

(平成15年2月策定)

計画期間 平成15年度～17年度

三本柱

- ・財政再建
- ・経営体制の整備
- ・参画と協働の推進

- 人件費削減等集中的な財政対策をはじめとする取組みにより最重要課題の赤字再建団体への転落は回避
- 弾力性のある「歳入に見合う歳出構造」の確立には至らず

第1次  
平成8年～平成11年度

第2次  
平成11年～平成14年度

## ② 「第3次高砂市行政改革大綱 改定版」

国の地方行革指針に基づく「集中改革プラン」  
第3次行革の期間を延長し **「さらなる改革」**

- ・ 計画期間 平成17年度～21年度  
(平成18年3月策定)

従来の経費削減など量的縮小に加え  
「行政システムの質的な変革」  
「職員の意識改革」 に重点

## 「さらなる改革」 具体的な成果（現段階）

- ① 文化会館、体育施設など公の施設に指定管理者制度導入  
(公募、21年4月より利用料金制導入)
- ② 高砂保育園の廃園(子育て支援センターを移設)、きくなみ保育園等の民間移管、学校給食の民間委託
- ③ 4年間で104人の定員削減。(計画92人)
- ④ 任用替による技能・労務職員の行政職員への登用
- ⑤ 目標管理制度による管理職員への勤勉手当への反映
- ⑥ 行政評価システムの導入 等

第3次行革の基本方針「経営体制の整備」「参画と協働の推進」  
については、不十分な結果に

## Ⅱ 現在の高砂市の状況

### ● 財政危機の主な要因

① 少子・高齢化による社会保障費の増加

② 高砂市民病院への繰出し金の増加

平成16年度臨床研修医制度導入による医師の減少

③ 美化センターや老朽化した施設の維持補修費の増加

④ 依然として構成比の高い人件費

景気後退による税収減

## Ⅲ 現在の取り組み

### 第4次高砂市行政改革大綱の策定

#### ◎基本的な考え方 「高砂再生」

- 財政危機の回避
- 「持続的な健全経営を保証できる体制づくり」
  - ① 「事業仕分け」の考え方により、事業の「選択と集中」
  - ② 「経常収入で賄えるような歳出構造に
  - ③ 「少子高齢化、人口減少社会に則した行政の仕組みに
  - ④ 「第3次行革で充分取組めなかった「経営体制の整備」、  
「参画と協働」の推進
  - ⑤ 「新たな時代の地域のあり方、コミュニティのあり方

# IV 基本方針

## 1 基本理念

「高砂再生」にむけて、計画期間中における財政再建を果たし、「持続可能な財政運営」をめざす。

## 2 基本的な視点

- ・行政運営から行政経営への徹底
- ・高砂の強みを生かした改革・再編
- ・官・民の垣根を超えた連携

## 3 計画期間

計画策定時から平成26年度まで

## 4 基本方針

- ① 全会計において、歳入に見合った歳出構造  
財政調整基金の繰入れを最小限に抑制
- ② 国・県、近隣市の状況を検証し、大胆な見直しを図るとと  
もに、市の主体性を発揮した施策の展開
- ③ 簡素で効率的な組織運営、組織・機構
- ④ わかりやすい数値目標による成果重視の行政運営

## 5 重点取り組み事項

- ① 歳入の確保
- ② 人件費の削減
- ③ 事務事業の見直し
- ④ 経営体制の整備
- ⑤ 地域協働の推進
- ⑥ 意識改革及びコスト意識、説明責任の向上
- ⑦ 地方公営企業、特別会計等の経営の健全化

## 5 実施計画

実施項目(第1次素案 議論のためのタタキ台)

ご意見を伺い補強、追加し、現在策定中の今後の財政見通し(中期財政計画)、定員適正化計画と平行して、実施計画を策定し、項目内容の具体化をはかります。

ご提案をお寄せください(別紙 提案書)